

開催日時	8 月 25 日 (月) 午後 7 時 0 分 ~ 8 時 27 分				
場 所	中部小学校 ランチルーム	出席者	委員 15 名中 13 名出席	記録者	教育委員会事務局 竹原雄一
【会議の内容】					
<ul style="list-style-type: none"> ・最初に、全委員で既存校舎 1 階の 3、4 年生の教室で、ワークスペース側の可動式の壁の収納方法について、実際に動かしてみ確認をした。 ・前回、意見のあった、トイレの位置を変更した図面について、宮本忠長建築設計事務所から説明を受けた。トイレの位置を校舎東側に移しても、用水路との間に 1.5m の余地が確保できる。校舎のメンテナンス作業のことを考えても、このくらいの余地の確保は必要だと考えられる。また、この変更によって 1 階東側に避難用出口も確保できる。可動式の壁を採用する場合は、この設計では、動かした壁は、ワークスペースに収納できないため、教室内に収納せざるを得ない。費用の面では、固定式に比べ可動式は、50% 割高になる。例えば、固定式が 100 万円だとすると可動式は 150 万円になる。階段とトイレの上には屋根をかけない設計になっている。 ・可動式の壁を採用するか否かについては、学校と意見調整をしてもらい教育委員会の判断に委ねる。 ・屋根をかける範囲、女子トイレの位置について、変更を求める意見があり、次回の会議で変更後の図面を確認することとした。 ・基本設計についての検討は、本日の会議をもって完了とする。 ・次回の会議は、9 月 9 日 (火) 午後 7 時 30 分から公民会館第 6 会議室で行なうことを決めた。 					
【意見・要望等】					
Q : 階段とトイレの上に、屋根をかけた方がいいのではないかと？					
A : 体育館の屋根に接近してしまうこと、また、トイレの位置が教室の位置とずれているので、全体に屋根をかけると大変大きな屋根となる。できないことはないのですが、検討します。					
Q : 既存校舎裏側 (東側) を南側から滝の前を通過して北側まで行けるのですか？					
A : 1 階用務員室からの渡り廊下の両側にシャッター又は引き違い戸を付けることによって、通り抜けることは可能です。					
Q : 教室出入口引き戸の敷居の段差が気になりますが、取り除けないのですか？					
A : 壁が固定式であれば、敷居は段差なく平らになるのですが、可動式の場合はどうしても段差ができてしまう。					
Q : 今、現在中部小学校では、この可動式の壁はどのように使っていますか？					
A : あまり使用してはいませんが、ワークスペースまでつながっている開放感があり、いい環境になる。また、授業参観や研究授業で見学者が教室を見やすくなる。ただし、冬期間は、暖房を効率的に使うために、階段とワークスペースの間、トイレの入口に戸が必要となります。					
Q : 教室出入口引き戸の敷居の段差が気になりますが、取り除けないのですか？					
A : 壁が固定式であれば、敷居は段差なく平らになるのですが、可動式の場合はどうしても段差ができてしまう。					
【まとめ】					
<ul style="list-style-type: none"> ・屋根をかける範囲と女子トイレの位置について、変更を要するという意見を受け、次回会議では、変更後の図面を確認することとした。 ・教室の壁を可動式にするかどうかについては、教育委員会に判断を委ねることとした。 ・基本設計についての検討は、本日をもって完了とする。 					